



こだま

古から今につながり、大谷の今は、未来へ続く

令和4年度号

発行日 令和5年3月31日

発行 大谷小学校PTA

編集 PTA広報委員会

表紙 令和4年度の行事



いざや
いざや
いざや
いざや
いざや!!

意外と知られていない!?

『こだま』制作の裏側を大公開!!

PTA 委員会 広報を「広」報する



広報委員会は、どこの学校でも「大変そう」「集まる回数が多いそう」というイメージ。果てさて、大谷小学校の広報委員会は…?

こだまを読んでいるか?

■ はい **87%** ■ いいえ **13%**

- すべて読む…………… 51%
- 興味ある記事だけ読む…………… 36%
- 読まない…………… 7%
- 昨年度はPTA会員ではないので知らない…………… 5%
- 『こだま』があることを知らない…………… 1%

読まない理由…

- 読む暇がない…………… 54%
- 内容に興味がない…………… 25%
- その他…………… 21%

P T A 活動やその存在意義に関して、全国各地で様々な議論が交わされている昨今。広報誌『こだま』の発行が活動の主軸である大谷小学校の広報委員会は、果たしてどのように捉えられているのでしょうか…?

今回、今年度より本格導入した『クリーニング』を使い、『こだま』に関する意識調査を行いました（保護者287名に対して調査・回答数258）。その結果、『こだま』を「読んでいる」と回答した人は全体の9割近くにものぼり、その注目度の高さが証明されました。同時に、大谷小学校の保護者が、子どもたちの学校生活や地域に対して「いかにアンテナを高く張っているのか」ということまで伺える結果となりました。学校も地域も、そこに住んでいる方々の様々な協力によって成り立っています。その上で、興味を持ってくださり、アンテナを高く張ってくださっているということは、非常にありがたいことです。そうであればこそ、こうした方々に対してより価値のある情報をお届けすることが大切です。今回のアンケートは、広報誌の役割や存在意義を再認識させられる、そんな結果となりました。

大谷流“トロイカ体制”で 登壇しました!!

広報委員・学校・外部のデザイナーの協力関係によって制作が成り立っている『こだま』。この体制が“好事例”として、静岡市PTA連絡協議会が主催する「広報委員全体研修会」(2022年6月25日開催)にて紹介されました。3者がそれぞれの立場から『こだま』について語り、チームワークの良さが伺える内容でした。



パネルディスカッションには、学校側の立場として、鈴木校長先生も登壇してくださいました。



PTA事務の市川さんも、常に全面的にご協力くださっています。感謝です!!

地味に

「常勝大谷」との評判も…? 8年連続入賞中!!

保護者や地域の方はもちろん、外部からも好評を博している『こだま』。静岡市PTA連絡協議会が毎年主催している広報誌コンクールにおいては、平成27年度より8年連続入賞中。11月下旬から12月初旬に開催される『静岡市PTA大会』で、毎年表彰されています。審査の基準は、見た目のデザイン性はもちろんですが、それだけではなく「学校や地域との繋がりを感じられる内容か?」や「学校生活やPTA活動の様子が分かる内容か?」といった中身の部分も含まれています。まさしく、これまでに広報委員を経験されてきた方たちや、デザイナーさんの“努力の結晶”と言えますね。

生みの苦しみを
伴う…だからこそ
得られるモノ

過

去に広報委員を経験したことのある方々に、

当時のことについてヒアリングをしました。大変だったこととして挙げられたのは、「子どもを連れて委員会へ出席すること」や「取材の段取り」。前者は広報委員会のみならず、PTA活動全般に言えることかもしれません。そして後者は、取材する方へのアポ取りやお礼の連絡、

取材内容のまとめや写真の選定 etc. 広報ならではの苦労した点と言えるのかもしれませんが。特に、取材・写真撮影・記事作成・レイアウトは専門性を伴うため、得手・不得手が分かれます。そのため大谷小学校の広報委員会では、外部のプロのデザイナーが入り、これらの制作業務を補助。企画段階から携わり、取材の同行や誌面の作成まで、全面的に協力をしてもらっています。広報委員長を経験された方曰く、「企画の方向性や取材

時の着眼点についてアドバイスしてもらうことで、スムーズに進んだ」と。こうしてプロの力も借りながら完成した『こだま』を手にした時に「達成感を感じた」と振り返る元広報委員は、決して少なくはありません。「知人に『(こだま)読んだよ』と〇〇の記事が良かったよ」と感想を言われた時は嬉しかった」という声も挙がり、まさしく生みの苦しみがあつたからこそ得られた喜びと言えるのかもしれません。本当に、お疲れ様です。



会議室には、栄冠の証となる盾がズラリと飾られています。

—— 平成27年度以降の受賞歴 ——

| | |
|-------------|------------|
| 平成27年度……優良賞 | 令和元年度……優良賞 |
| 平成28年度……優良賞 | 令和2年度……優良賞 |
| 平成29年度……優良賞 | 令和3年度……優良賞 |
| 平成30年度……優秀賞 | 令和4年度……優秀賞 |

っぱり大変…?’という疑問にお答えします

作られています!!

キャリア教育で『こだま』制作!?

年生のデザイナー体験

『こだま』の制作を手掛けてくれて
『office RickY』のデザイナー
は、実は大谷小学校の卒業生。

年生のキャリア教育の時間に、ゲ
講師として来てくれた時には、

『こだま』の表紙作りにチャレンジする“デザイナー体験”の
間も設けてくれました。みんな夢中で取り組んでいました。



“伝わる広報誌”を作るため、まずは
「伝える内容」と「伝え方」を考えます

広報誌制作は、企画が命!!「誰に?」「何を?」を軸に、
伝えたい内容(=テーマ)を絞り込みます。広報委
員長と『office RickY』の
デザイナーさんが中心とな
り、その年度の広報誌の方
向性を決め、そこから細か
な記事内容を考えています。



取材期間

9月

8月

7月

6月

5月

4月

広報委員会

広報委員
全体研修会

第1回広報委員会

運動会撮影

構想期間

記事考案
打ち合わせ

取材の醍醐味!!普段は見られない 子どもの様子を見られるかも…?

テーマが決まったら、企画内容に応じた取材の計画を
立てます。具体的な取材内容は、デザイナーさんと

相談しながら考えます。取材する際のポイントや具体的なノウハウを教えてもらうことで、最初は不安そうな広報
委員も「何をしたら良いのか?」が少しずつ分かってきます。取材後のまとめ作業も、第2回広報委員会の時に、
プロから直接アドバイスをもらいます。取材を通して見てきたモノや感じたコトを「相談」という形で話すことで、
頭の中が整理され、記事の方向性が徐々に定まります。そして第3回広報委員会の時に、取材メモや撮影した写
真のデータを、デザイナーさんにお渡し。この期間の頑張りが、完成した時の喜びや達成感にも繋がります。



デザイナーさんには、毎回の
委員会に来てもらっています。

Special Thanks



office オフィス・リッキー

RickYのデザイナーさんよりメッセージ

大谷小学校の広報誌制作に携わらせていただいて、今年度で10年目となります。
構想段階から関わらせていただくことを受け入れてくださった元広報委員長さん方には、
感謝しかありません。私もかつては、大谷小学校に通う子どもの1人でした。
私を育ててくださった大谷の地に、このような形で恩返しをさせていただくチャン
スを与えていただけたことに、深く感謝しております。本当に、ありがとうございます。



office RickY
佐野 立樹さん

実録!!

「広報ってどんな活動をしているの?」「や

『こだま』はこうして

完成まであと一步!! みんなに届け、大谷の広報誌

印刷が完了して学校へ納品されたら、配布の準備です。学校内で配る分はクラスごとに、回覧板に挟んで回す分は地区ごとに、部数を分けます。そして回覧板に挟む分は、毎月5日に開催されている大谷地区の自治会の会合へ持って行きます。この仕分け&配布作業が終われば、広報誌制作の一連の作業は全て完了です。

まるで“魔法”をかけたみたい!! 「プロの技」で誌面をデザイン

誌面の制作はプロにお任せ!!『office RickY』のデザイナーさんが、2人掛かりでデザインしてくれます。自分たちの取材メモや撮影してきた写真から、素敵な誌面に仕上がった原稿を目にした瞬間は感動そのものです!!内容や誤字脱字のチェックは、広報委員と学校側とで行います。校了後の入稿処理は、デザイナーさんをお願いしています。

仕分け&配布

3月

第4回広報委員会

2月

原稿チェック

1月

制作期間

12月

静岡市
PTA大会

11月

第3回広報委員会

10月

第2回

歴代広報委員長さんが集結!! 『こだま座談会』で聞いた 経験者のリアルな声

今回の広報誌を制作するにあたっては、過去に広報委員長を経験された方々から体験談を取材させていただきました。皆さん、気持ちよく引き受けてくださり、今でも『こだま』を気に掛けてくださっていることが、とても伝わってきました。ご協力くださり、ありがとうございました。



取材メモより

今後『こだま』で取り上げて欲しい記事は?

先生の紹介

59%

授業の様子

73%

『Cラーニング』を使った『こだま』に関する意識調査で、今後取り上げて欲しい記事について聞いた所、4人に3人が「授業の様子」、3人に2人が「先生の紹介」と回答。子どもたちの様子や先生に対する関心の高さが伺えます。「担任以外の先生方がよく分からない」という声もあり、広報委員として何かしらの対策が必要と感じる結果となりました。

なりたい自分 ~ キミの想い・聞かせて!



将来の夢



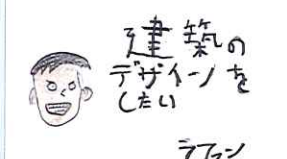
看護師
になりたい。
優梨彩



スポーツに関わる
仕事をしたい。
一海成



スーパー
で働く
海成



建築の
デザインを
したい
アラン



プロクラの
仕事をしたい
まぐろ



水泳選手
になりたい
愛成



牧場で
働く人
になりたい
啓叶



保育士
になりたい
彩羽



心が明るく
きれいな
人になりたい。
柚七



歌や絵に
かかわる
仕事。
ゆら



イラスト
レーターに
なりたい。
澤



人のやく
にたつ人
になる
伊吹



ゲームに明るく
仕事にできる
虎太郎



薬剤師に
なりたいです。
音無



国家公務員
隼



イラストレーター
になりたい!!
凜音



イラスト
レーター
羽菜



人を助ける
仕事に
したい。
百夏



ゲームクリエイター
路和



人の役に
立つ仕事
健心



栄養士に
なりたいです。
由貴



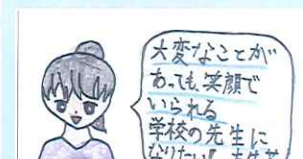
立派な
大人に
なりたい
利海



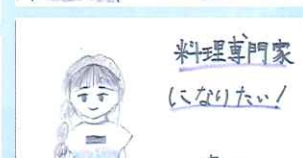
絵に関
する
仕事
優



サッカー
選手に
なりたい
です
涼真



大変なところあ
っても笑顔で
いられる
学校の先生に
なりたい! 大生花



料理専門家
にになりたい!
璃子



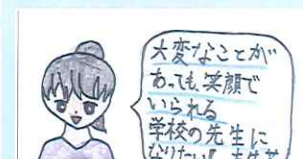
街で
サラマン
として働く
大河



バスケット選手
になる!!
ノーベル賞を
ほろ
浩輝



薬剤師
かなと



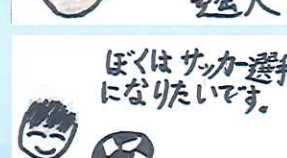
健康に
過ごす
逸大



算数、数学の
教師に
なりたいです
菜摘



みんなの命
を救う
消防士
陽真



ぼくはサッカー選手
になりたいです。
康也



保育士
になりたい。
美優



法律に
関わる仕事
希海

大

谷の海をイメージした鮮やかなブルーが

印象的な真新しい校旗の前に、鈴木校長先生は「これは、

大谷小学校とご縁のある方のご家族が、寄贈してくだ

さいました」と満面の笑み。

大谷小学校が150年近くの歴史の中で積み重ね、守り続けてきたものは、鈴木校長先生が37年間の教員生活の中で大切にしてきたものと重なること——

「人とのつながり……子ども、保護者、そして職員とのつ

ながりを、とにかく一番大切にしてきました。その結果

が、今の大谷小学校の姿であり、大谷地区全体が自然

に守り続けてきたことではないでしょうか」と鈴木校

長先生。時代と共に教育



全校朝礼にて。実演も交えて、続ける大切さを伝えていただきました。

巻末特集

“好きなこと”を見つけるために——



校旗に象徴される

「郷育」の在り方…

子どもを育む

大谷“愛”

鈴木 寿先生

大谷小学校に赴任されて3年目…校長先生という立場から、この地域に、子どもたちに、今思っていることを聞きました。



表現ツールは「言葉」。想いが込められている分、伝わる力も格別です。



現場も様変わり。かつては「トークとチョーク」と言われた教員も、ICT教育の時代に入った今、求められる役割も変わりました——「正解のない時代の中で、子どもたちには、楽しいと思えること、好きなことを自分から見つけ、思い切り続けて

欲しいです。周りの大人たちがすべきことは、そんな子どもたちの居場所や逃げ場を、いっぱい作ってあげることではないでしょうか」と話す鈴木校長先生は「校長室はその、心休まる最後の場所であればいい」と考えながら、この3年間を過ごされていたそうです。今は、やり直しがいくらでもできる時代。だからこそ、好きなことも苦手なことも、とにかく全力でやり続け、自分

の中で、できたを増やして、いくことが大切です——「誰かのために何かをしたいと思うことが『愛』であるなら、大谷地区の強みはこの『愛』に溢れていることです」と鈴木校長先生。地域全体で子どもたちを育てていく『郷育』が成り立つのは、長い歴史の中で積み重ねてきた土壌があつてこそです。新しい校旗は、大谷地区そのものを、そして更にはこれからの教育の在り方を、象徴しているアイテムと言っても、過言ではなさそうです。

◆ 編集後記

「広報委員会って大変そうだな——」多くの方が思う、広報委員会の印象だと思えます。今年度は「広報委員会の活動を多くの方に知ってもらいたい」と思い、制作してきました▼アンケートはPTA事務の市川様で協力の下、クラウドで試みました。配布、回収、集計作業が削減でき、簡素化できたと思います。広報委員長の経験ある方達に貴重なお話を聞くことができた、広報員全体研修会や「静岡市PTA大会」への参加を通してたくさんの方に出会い、とても貴重な経験をさせていただきました▼ご協力いただいた皆様や制作会社「office Rocky」の佐野立樹様、武本夕貴子様に深く感謝いたします。少しでも広報委員会、そして広報誌を作ることに、興味を持っていただけたら幸いです▼2年間、ありがとうございました。

◆ 広報委員

- 1年 川上 純子
- 2年 伊勢田 夏海
- 2年 宮崎 香織
- 3年 吉田 有希子
- 3年 井上 真衣子
- 4年 高野 奈緒美
- 4年 藪崎 朋子
- 5年 石川 留悠
- 5年 鈴木 洋子(委員長)
- 5年 齋藤 美穂
- 6年 中村 由美
- 石川 恵理(副委員長)